

今回お届けする内容

- カタログ改訂のポイント
- コース開講情報

総合カタログ改訂4つのポイント

Point 1

全**167**コース
掲載

(2016年度新規開講コースは
12コース予定)

新コース
続々追加!
全**167**
コース

JMAM
eラーニング
ライブラリ[®]

Point 2

「受講者の声」
を掲載

Point 3

「eラーニング
活用に関する
調査」結果掲載

「むずかしい」を「わかりやすく」
手軽に学べて満足できる!

マネジメント系コース

「受講者の声」

◆マネジメントの基本コース

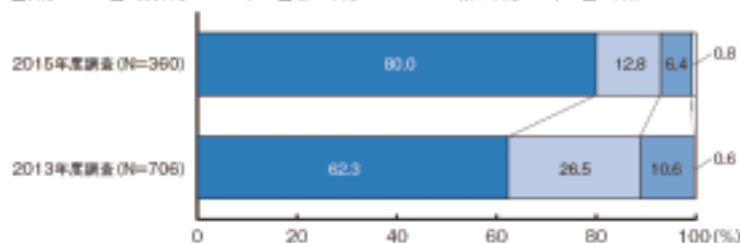
マネジメントでやるべきことが具体的に記述されていたため勉強になった。部下のやる気を引き出すことがいろんな意味でプラスになると思われる。今後のマネジメントで有効に使っていきたい。

自部門をマネジメントする立場ではないが、その立場に立った場合、マネジャーとしての役割を果たすために人との関わり、自分の考え、説得力が重要な要素であると感じました。部門目標達成のために参考になりました。

「80.0%」がeラーニングを実施、2013年度に比べ大幅増

「80.0%」の企業がeラーニングを実施している。一昨年度と比較すると、実施率は62.3%→80.0%と大きく増加している。

■実施している □一度も実施したことがない ■過去に実施したことがあるが、現在は実施していない □無回答



Point 4

モバイル版
動作環境更新
(Android 6追加)

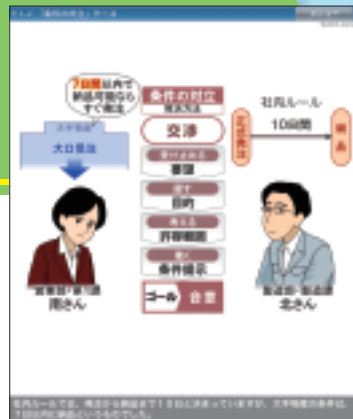
カタログを
データで確認



5月開講

コンフリクト・マネジメント 入門コース

詳細はこちら



- 対立を「条件」「認知」「感情」の3つに分け、解決するための基本的な方法・手順を習得します。
- 職場で起こりがちなケースをもとに、3つの対立それぞれの解決手法を身につけ、組織内のイノベーション、創造性、グローバル化、多様化への対応力を向上させます。
- JMAMの集合研修 (GR-72 対立を克服する力)と連動した教材で、事前・事後課題に最適です。

主なカリキュラム

- 1 よい対立、悪い対立
- 2 条件の対立：交渉
- 3 認知の対立：共有
- 4 感情の対立：関心
- 5 対立のススメ

教材概要

- 対象者：ビジネスパーソン全般
- 想定学習時間：2時間
- 最短実行時間：29分
- テスト数：1回 (ランダム出題)



6月開講

多様な働き方を考える ダイバーシティ実践コース

詳細はこちら



- ダイバーシティの定義や組織における意義・必要性を再確認し、理解を深めます。
- 働き方の多様化にともない職場で起こりがちなケースを取り上げ、どう対処するかを考えます。
- 主体的な働き方、キャリア形成、ワーク・ライフ・バランスなどについて、職場でどう実践できるかを考えます。

主なカリキュラム

- ダイバーシティとは
- ケース1 主役力を高める
- ケース2 長期的なキャリアを描く
- ケース3 ワーク・ライフ・バランスを尊重する
- ケース4 シニアの活躍を支援する

教材概要

- 対象者：ビジネスパーソン全般
- 想定学習時間：2時間
- 最短実行時間：16分
- テスト数：1回 (ランダム出題)

その他のコースはこちら



●お問い合わせは

JMAM 株式会社 日本能率協会マネジメントセンター
e-ラーニング事業本部

2016年5月発行

〒103-6009 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー 9階
TEL (03)6362-4345(直通)
◀発信者番号を通知しておかけください (平日9:00~17:00)▶

●ホームページ <http://www.jmam.co.jp/>

[eラーニングライブラリ](#) 検索

eラーニング ライブラリ®は株式会社日本能率協会マネジメントセンターの登録商標です。

© 2016 JMA MANAGEMENT CENTER INC. (無断複製転載を禁ずる)

